

## 5 研究機関助成

### 石川県教員総合研修センター

(所長 平畠 敏彦)

理数教育の充実に向け、理科教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

## 6 研究奨励(※は研究代表者)

### [奨励賞]

#### 子どもが創る理科

##### ～友達と協力しながら、解決したいと動き出す子を目指して～

金沢市立三馬小学校教諭	山岸 留美*	金沢市立額小学校教諭	吉本 敦子
金沢市立泉野小学校教諭	室木 千恵子	金沢市立三馬小学校教諭	出坂 愛子
金沢市立夕日寺小学校教諭	別宗 美幸	金沢市立夕日寺小学校教諭	河合 真衣
金沢市立戸板小学校教諭	瀧本 萌		

#### 石川県の自然・産業等を生かして深く思考する理科学習

##### ～実生活・実社会と関連づけて～

野々市市立館野小学校教諭	福嶋 康晴*	金沢市立十一屋小学校教諭	小松 武史
--------------	--------	--------------	-------

#### 子どもが主体的に知を創造、更新していく理科学習

##### ～主体的な学びを目指す、1枚ポートフォリオ評価の研究～

金沢市立鞍月小学校教諭	田井 和基*	金沢市立兼六小学校教諭	筒井 邦治
金沢市立木曳野小学校教諭	常光 史明	金沢市立大野町小学校教諭	永井 重輝

#### 主体的・協働的な学びの実践

##### ～化石擬似発掘や擬人化モデルを通して～

かほく市立高松中学校教諭	中川 純太
--------------	-------

#### 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業スタイルの確立

##### ～中学校理科における実践～

小松市立松陽中学校教諭	盛田 義弥
-------------	-------

#### 小中高の接続を円滑に進めるための中学校の理科指導

##### ～電位概念の指導に着目して～

石川県立金沢錦丘高等学校教諭	沖野 信一*	石川県立金沢錦丘高等学校教諭	田嶋 亜希乃
石川県立金沢錦丘高等学校教諭	東 拓郎	石川県立金沢錦丘中学校教諭	友安 正人
石川県立金沢錦丘中学校教諭	上野 百世		

#### iPadやスマートフォンを利用した簡便な可視光のスペクトル解析

石川県立金沢泉丘高等学校教諭	前田 学
----------------	------

平成29年度

## 第55回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成30年2月14日(水)

13:30～14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

### 式次第

- 開式のことば
- 表彰状及び記念品等授与
- 助成金交付
- 表彰状授与及び奨励金交付
- あいさつ
- 来賓祝辞
- 受賞者代表謝辞
- 閉式のことば

石川県科学教育振興会会長 菱沼捷二

田中新太郎

# 受賞者等の紹介

## 1 個人表彰

金沢市立泉野小学校 教諭 室木 千恵子

能都町立鶴川小学校を初任に、金沢市立戸板小学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の応募が3件ある。指導面では、金沢市教育委員会主催理科実技研修講師及び金沢子ども科学財団科学教室指導員等を務めるとともに、校内でも理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導に熱心に取り組み、現任校を越馬徳治科学賞学校表彰に導いた。また、「理科の学習」編集委員、金沢市内2校の研究協力者、石川県理科教育研究大会金沢大会実行委員及び金沢市小学校教育研究会理科部会運営委員を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

金沢市立野田中学校 教諭 菊田 典嗣

金沢市立額中学校を初任に、現在に至る。研究面では、石川県理科教育研究大会の生命分科会での実践報告「遊び合いにおけるジャンプ課題（背伸びの課題）の設定の工夫」、日本応用動物昆虫学会でも発表実績がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、高峰賞応募生徒に対して研究指導を行い、高峰賞受賞へと導いた。また、石川県理科教育研究大会金沢大会分科会委員を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立金沢二水高等学校 教諭 村井 敬青

松任市立光野中学校を初任に、野々市町立野々市中学校、石川県立金沢西高等学校、同野々市明倫高等学校を経て現在に至る。研究面では、全国理科教育大会の物理分科会の「波の干渉のイメージ作りの工夫～音を視覚化して現象を考えよう～」、北信越理科教育研究大会の物理分科会の「中学校からの移行内容の研究」の発表実績がある。さらに、石川県高等学校理化教育研究大会及び石川県理科教育研究大会での発表実績が合わせて7件ある。また、石川県高等学校理化部会事務局を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立小松高等学校 教諭 政浦 嘉恵

石川県立金沢泉丘高等学校を初任に、同金沢西高等学校を経て現在に至る。指導面では、文部科学省研究開発校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に係る学校設定科目や課題研究などについて研究実践及び小松市内の小学校やサイエンスヒルズこまつにおける高校生による実験教室の指導実績がある。また、石川県高等学校生物部会事務局として総会、研究発表会及び「いしかわ高校生物のつどい」の企画立案に携わるなど、理科教育の振興に貢献している。

## 2 功労者表彰

金沢市立小将町中学校 校長 瀬谷 浩

金沢市立高岡中学校を初任に、同港中学校、同兼六中学校、野々市町立野々市中学校、石川県立金沢錦丘中学校、石川県教育委員会学校指導課指導主事、同主任指導主事、金沢市立高岡中学校教頭、石川県立金沢錦丘中学校教頭を経て現在に至る。研究面では、石川県理科教育研究大会及び文部科学省研究開発学校指定公開発表会での発表実績がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、高峰賞応募生徒に対して研究指導を行った結果、多年にわたり高峰賞受賞へと導いた。また、平成27年度金沢市ベーシックカリキュラム理科作成委員教科長及び石川県理科教育研究大会金沢大会実行委員授業運営副委員長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

珠洲市立宝立小中学校 教頭 時兼秀充

珠洲市立上黒丸小学校を初任に、同宝立中学校、同緑丘中学校、能登町立能都中学校、珠洲市立宝立中学校、同緑丘中学校教頭を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励での受賞や石川県理科教育研究大会等での発表実績がある。指導面では、理科担当者、科学クラブ顧問として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたった。また、珠洲市学校教育研究会理科教育研究会、能登町学校教育研究会理科教育研究会に所属し、教材づくりや観察会の講師、研究授業等を行うなど、理科教育の推進に貢献している。

石川県立加賀聖城高等学校 校長 榊原亨

河内村立河内中学校を初任に、石川県立小松商業高等学校、同寺井高等学校、同金沢錦丘高等学校、同小松工業高等学校教頭、同金沢伏見高等学校教頭、同羽咋高等学校教頭、同野々市明倫高等学校副校長を経て現在に至る。指導面では、石川県立金沢伏見高等学校が文部科学省GLOBE推進事業の指定を受けた際に副委員長として、「水生昆虫の調査と水質調査を通した伏見川の環境保全」を研究主題とした取組の指導及び助言を行った。また、石川県高等学校教育研究会理化部会事務局、日本理化学会総会及び全国理科教育研究大会石川大会運営副委員長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

## 3 学校表彰

金沢市立北鳴中学校

(校長 羽場政彦)

当該校は、「自己の考えを持ち、学びを表現できる生徒の育成～言語活動の充実と工夫を通して～」を研究主題として、学習指導に取り組んでいる。理科では、「根拠を明確にして考え、表現する生徒の育成」を掲げて、観察・実験の結果を班ごとにまとめ、全班の比較をしながら考察発表するという表現力を高める授業を積極的に実践している。また、科学技術部は生徒が主体的に取り組めるように、生徒の疑問を解決する観察・実験を行わせており、市科学作品展や市科学作品発表会に出品している。平成28年度から「いしかわ学校版環境ISO」認定校として、金腐川の水質調査も行っている。

石川県立金沢泉丘高等学校

(校長 宮崎栄治)

当該校は、心身一如の教育目標のもと科学技術分野や医療分野など国内外で活躍する卒業生を多く輩出している。文部科学省研究開発校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けてからは、現在に至るまで4期14年間、先進的な理数教育の教材開発・科学技術系人材を育成するプログラムの研究開発に一貫して取り組んできた。大学や研究機関などの協力を得ながら、特色ある授業や講演会、課題研究及び英語での研究発表会を行ってきた。また、全国高等学校総合文化祭自然科学部門、全国SSH生徒研究発表会、科学オリンピックなどに多数の入賞実績がある。

## 4 学校助成

白山市立明光小学校

(校長 日向彰子)

白山市立北辰中学校

(校長 久司由利子)

石川県立鶴来高等学校

(校長 田井友章)

平成30年度に白山市で開催する、第55回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している。